

公開文書

「ヒト皮膚組織における免疫受容体の発現解析」について

1. はじめに

生体内には、免疫の機能を制御する様々な機構があり、バランスを取っていると考えられています。細胞表面上に発現し、他の細胞に発現する細胞膜型分子、あるいは可溶性分子をリガンドとして認識、結合し、細胞外環境の情報を免疫担当細胞内に伝達する分子として、「免疫受容体」があります。これまでは遺伝子改変マウスを用いた研究で、これらの免疫受容体の機能を示してきた。しかしながら、動物種によって相同分子の発現局在は大きく異なる場合があります。すなわち、免疫受容体のヒト疾患への応用を考えた場合、マウス実験で得られた分子の発現をヒト材料において検証することが必要です。皮膚は様々な疾患（アレルギー性疾患、自己免疫性疾患、腫瘍など）で免疫反応が起こる組織であり、皮膚における免疫受容体の発現局在を解析することは疾患の病態を理解するために重要です。

2. 目的および方法

これまで、主に遺伝子欠損マウスを用いて研究してきた分子に関して、ヒト皮膚組織における発現を検証します。既に保存されている、皮膚腫瘍切除術時の正常皮膚組織から切片を作製し、免疫組織染色法などの解析法で免疫受容体の発現局在を検証します。

3. 研究対象者

筑波大学皮膚科で皮膚腫瘍切除術を施行された方。

4. 研究期間

研究期間は倫理委員会承認後から 2023 年 6 月を予定しております。

本研究は筑波大学附属病院の倫理委員会で認められた期間に行いますが、倫理委員会で認められた期間を超える場合は、倫理委員会に期間延長を申請し、再度承認を受けることといたします。

5. 参加したときと参加しなかったときに予想されること

この研究ではすでに治療が行われた方が対象となり、すでにある臨床情報のみによる研究であります。従って、この研究で得られた結果からのあなたへの直接の利益はありません。一方で、想定される不利益もありません。

6. 試料・情報

今回の研究は保存されている皮膚組織を用いて行われます。解析結果や臨床情報はもちろんのこと、お名前やご住所などの個人情報の保護には十分配慮いたします。個人情報は暗号化され、番号で扱われます。研究に関わる書類やデータは厳重に保管します。第3者へ情報を提供することはありません。

7. 費用などの負担について

この研究を実施するにあたり、負担していただく費用はありませんし、負担軽減費などをお支払いすることはありません。

8. 研究の進行状況や発表について

研究の結果は、誰のものか判らないようにして発表される可能性があります。従って、あなたの個人情報は保護されます。この研究で新しい発見があった場合、その発見は知的財産として認められることがあります。そのときのすべての権利は研究責任者側が有することになります。

9. 研究機関名、責任者、お問い合わせ

この研究について詳しく説明をして貰いたいことや心配なことがあればいつでも下記にご連絡ください。

問い合わせ窓口 : 筑波大学医学医療系 皮膚科

郵送先 : 〒305-8575 茨城県つくば市天王台 1-1-1

電話 : 029-853-3128 (平日 10時から 17時まで)

ファックス : 029-853-3217

電子メール : hf66tobu@md.tsukuba.ac.jp

施設研究責任者 : 中村 貴之